

令和6年 3月31日

久留米市議会議長 様

久留米市城南町15番地3

会派名 日本維新の会

代表者名 草場 公晴

政務活動費事業実績報告書

久留米市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

- 1 事業の完了年月日 令和6年 3月31日（R5年度分）
- 2 事業実績の概要
 - ・各種研修等への参加
 - 10/25～26 「全国市議会議長会 研究フォーラム in 北九州」(北九州市)
 - 11/7～8 「財政比較特別研修」(札幌市)
 - ・広報費 市政報告印刷代（8月、3月）
 - ・事務費 端末通信費用（タブレット）、振込手数料

研 修 報 告 書

令和5年11月9日

会 派 名 日本維新の会
代 表 者 草場 公晴 様

会 派 名 日本維新の会
報 告 者 草場 公晴

政務活動のため研修会に参加したので、その概要を報告いたします。

期 日	令和5年10月25日～令和5年10月26日
開 催 地	福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8番地1 西日本総合展示場 新館
参加議員名	草場 公晴
研 修 項 目	全国市議会議長会研究フォーラム
当該研修への参加動機・目的	地方議会において現状・課題とこれまでの議会改革がどのようなことが行われているか学び、自分たちの議会改革に繋げる事を目的として参加。今後の議員の在り方やなり手不足に対する取組み事例を学ぶため。
説 明 者	片山 善博・谷 隆徳・勢 智子・辻 陽・濱田 真里・鷹木研一郎 江藤 俊昭・辻 弘之・たぞえ 麻友・永野 慶一郎
説 明 内 容	・地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革の検証 ・日本の地方議会にかけていること ・統一地方選挙の検証と地方議会の課題 ・議員なり手不足問題への取組報告
研 修 の 成 果	基調講演では、現状、議場での真剣な議論がなく、議案も出来レースになっていることが課題としてあった。公開された場での提案や修正を行っていく重要性を学び、意識して取組でいきたい。税の議論を行う事で本来の財政運営ができると感じた。取組報告では、議会における多くの課題が出たが、登別では地方議員養成講座の開講や地域、経済人、議員が集まる勉強交流会など先進的な取組を行っており、本市においても参考になる取組であった。議員が外に出ていき見える市議会にすることが重要だと感じる。イベントと掛け合わせた取組を行いたいと思う。

研 修 報 告 書

令和5年11月9日

会 派 名 日本維新の会
代 表 者 草場 公晴 様

会 派 名 日本維新の会
報 告 者 草場 公晴

政務活動のため研修会に参加したので、その概要を報告いたします。

期 日	令和5年11月7日～令和5年11月8日
開 催 地	札幌市中央区北4条西4丁目1番 札幌国際ビル8階
参加議員名	草場 公晴
研 修 項 目	歳入・歳出の比較、財政指標の比較分析
当該研修への参加動機・目的	歳入・歳出の基礎知識を学び、財政の問題点や状況を知り、政策立案に繋げるために研修に参加。 経常収支比率、決算カードの分析のポイントを学ぶため。
説 明 者	元・廿日市市副市長 川本 達志
説 明 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方財政の基礎 ・ 決算カードから見られる歳入構造 ・ 地方財政対策を読み解く ・ 臨時財政対策債と公共施設再編事業債 ・ 性質別と目的別、クロスで見えるお金の使い方 ・ 財政完全ランキング ・ 財政破綻から学ぶこと
研 修 の 成 果	<p>歳入・歳出の構造が分かり、決算カードのポイントや見方が学べた。経済収支比率の意味や他の中核市との比較分析を行い、本市が何の項目に問題があり、正常に行われているか知ることができた。</p> <p>経常経費分析表で、久留米市は図書館、福祉施設の部分に問題点があることが数字から分かった。今回の研修を活かし議会において議論を深めて政策立案を行っていく。また、京都市や夕張の事例で、なぜ赤字になったか詳細に理解できた。大規模投資等の原因もあった為、議会が財政状況の把握と分析が重要だと学んだ為、今後の活動に活かしていく。</p>